

令和5年 **3月1日** 水曜日

定員 | 会場 450名
オンライン 1000名

時間 | 10:30-17:30 受付開始9:30予定

会場 | 東京国際フォーラム ホールB5
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1

プログラム

10:30 **開会挨拶** 須藤 亮 内閣府 政策参与・プログラム統括

戦略的イノベーション
創造プログラム (SIP)

10:40 **「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」の取組と成果**
堀 宗朗 SIP「国家レジリエンス(防災・減災)の強化」プログラムディレクター

11:00 **ポスターセッション**

12:30 **研究開発成果発表 (1)**

テーマI 白田 裕一郎 防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括
テーマII 六川 修一 防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括
テーマIV 沖 大幹 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
テーマV 清水 慎吾 防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括

14:25 **研究開発成果発表 (2)**

テーマVI 立川 康人 京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 教授
テーマVII 三谷 泰浩 九州大学 大学院工学研究院附属アジア防災研究センター 教授
テーマVIII 鈴木 広道 筑波大学 医学医療系 臨床医学域 感染症内科学 教授
テーマIX 高橋 良和 京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 教授

15:50 **パネルディスカッション**

SIPが変革した防災・減災 ～国家レジリエンスの現状と将来～

コーディネーター:堀 宗朗 プログラムディレクター
パネリスト:楠 浩一 サブプログラムディレクター
中川 和之 時事通信社 解説委員
東出 成記 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局参事官
山田 憲彦 神奈川県非常勤顧問((元)空将)

17:25 **閉会挨拶** 高原 勇 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局審議官

国家レジリエンス(防災・減災)の強化 成果発表シンポジウム

SIP第2期における当課題は、今後発生が懸念される大規模自然災害に対応可能となる、「国家レジリエンスの強化」に資する研究開発を行ってきました。具体的には、災害情報をリアルタイムに共有・利活用する仕組みを構築し、災害対応の最前線で戦う国や自治体の防災担当者の対応力の向上を図りました。

5年間にわたるSIP第2期の最終年度を迎え、これまでに得られた研究開発と社会実装の成果を紹介します。専門家を交え、SIPが変革した防災・減災を議論するパネルディスカッションを設け、国家レジリエンスの現状と将来を皆さんと考える場として参ります。

参加申し込み

会場である東京国際フォーラムとWEB配信を併用したハイブリット形式にて開催いたします。

- ① 会場での参加をご希望される場合、下記サイトから参加申し込み下さい。
<https://forms.gle/JP1mS1amiyaspETK6>
※定員(450名)に達し次第、申し込みを締め切ります。
- ② オンラインでの参加をご希望される場合、下記サイトから参加申し込み下さい。
https://zoom.us/webinar/register/WN_S3jFrmudQZ-zYOkct9VtEg
※定員(1,000名)に達し次第、申し込みを締め切ります。

(注)新型コロナウイルスの感染拡大など、やむを得ない事情が生じた場合には、開催形式の変更、代理発表者起用等、臨時的措置を取る事がございます。

お問合せ先

国立研究開発法人防災科学技術研究所 戦略的イノベーション推進室
メール:sip_resilience@bosai.go.jp